

第1回熊本県立特別支援学校における適切な 指導の在り方等検討委員会概要

- 1 日時：令和元年（2019年）12月6日（金）午後1時30分～午後4時
- 2 会場：ホテル熊本テルサ 中会議室B
- 3 委員

（1）学識経験者

熊本大学大学院教授 干川 隆（委員長）

（2）特別支援学校保護者代表

熊本県特別支援学校PTA連合会会長 宮村 勇一郎（副委員長）

（3）特別支援学校長

熊本県特別支援学校長会会長 中島 徹

（4）その他特別支援教育に関する知識や経験を有する者

熊本県社会福祉士会会長 黒田 信子

4 会議の経過

- （1）発生した不適切な指導事案について、県教育委員会事務局からの説明
- （2）事案から見える課題の整理と改善策の検討

5 各委員からの意見及び指摘事項

再発防止に向けた提言のとりまとめに向け、各委員から以下のような意見が出された。

- 多様化する障がいへの正しい理解が必要ではないか。
- 子供や保護者との信頼を築く密なコミュニケーションについて、管理職を含めた意識改革が必要である。
- 子供の細かな状況について複数の教員と保護者で共有できる体制づくりや、多忙な保護者でも気軽に相談できる相談窓口があるとよい。
- 子供のことを中心に据えて先生方が協議する時間が不足しているのではないか。
- 多くの教員が一人がんばり、抱え込んでしまう傾向がないか。医療や福祉機関と連携できる体制づくりも重要である。

以上のような意見が出され、教職員の専門性向上の強化、保護者との信頼関係づくりの強化、学校組織としての対応力強化の必要性が指摘された。